

教科（科目）	国語（現代文B）	単位数	4単位	学 年	3年
教科書	『精選 現代文 B』（三省堂）		副教材等	『マナトレ 国語 挑戦編』 (ベネッセコーポレーション)	

1 学習目標

近代以降の様々な文章を的確に読解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深める。また、進んで読書をする習慣を身につけることによって、国語力の向上を図り、人生を豊かなものにする態度を育む。

2 指導の重点

- ・文章を読み、構成、展開、要旨などを的確にとらえ、その論理性を理解する。
- ・文章を読んで、書き手の意図や、人物、情景、心情の描写などを的確にとらえ、表現を味わう。
- ・文章を読み、批評することを通して、人間、社会、自然などについて考えを深める。
- ・就職や進学に必要な、また、社会に出る上で求められる、国語の基礎学力や知識を身につける。

3 評価の観点と評価規準及び評価方法

観点	関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解
評価規準	国語で理解し表現する力を進んで高めるとともに、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。	目的や場に応じて効果的に話したり的確に聞き取ったりして、自分の考えを深めている。	必要な情報を用い、相手や目的、課題に応じた適切な表現による文章を書き、考えを発展させている。	近代以降の文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深めている。	言語文化及び言葉の特徴やきまりなどについての理解を深め、知識を身につけている。
評価方法	発言（質問） 授業態度 ノート 課題プリント 定期考査 各種小テスト	発言（質問・発表） 音読（朗読） 課題プリント	ノート 課題プリント 定期考査 各種小テスト	ノート 課題プリント 定期考査	発言（質問） ノート 課題プリント 定期考査 各種小テスト

4 定期考査・課題・提出物

定期考査は5回実施する。重要な漢字や語句に関して、小テストを実施する。授業ではノート作成や課題プリントに取り組み、随時提出する。小テストや課題プリント、ノート提出も評価の対象となる。

5 担当者からの一言

漢字の練習や語句の意味調べなどを自主的に行って、理解を深めていきましょう。そして、実社会に出て行くために必要な知識や表現力を身につけていってください。

6 年間プログラム

学期	学習内容	学習のねらい	学習活動（評価方法）
前半 24時間 想定 1 学 期	評論 「ブーボー」と「マンマ」の記号論 (池上嘉彦)	・構成、要旨を的確にとらえる。 ・筆者の論旨を読み取る。	・語句の意味を確認する。 ・本文の要旨を考察する。
	小説 靴 (安部公房)	・登場人物の心情を的確に把握する。 ・物語の主題について考える。	・漢字や語句の意味を確認する。 ・物語の流れを理解する。 ・表題について考える。
	マナトレR 6級～4級		
	中間考査		
後半 24時間 想定 2 学 期	評論 サワルとフレル (長嶋善郎)	・構成、要旨を的確にとらえる。 ・筆者の論旨を読み取る。	・語句の意味を確認する。 ・本文の要旨を考察する。
	判断停止の快感 (大西赤人)		
	マナトレ3級		
	期末考査		
前半 30時間 想定 2 学 期	評論 「私」消え、止まらぬ連鎖 (高村薫)	・構成、要旨を的確にとらえる。 ・筆者の論旨を読み取る。	・語句の意味を確認する。 ・本文の要旨を考察する。
	病と科学 (柳澤桂子)		
	南の貧困/北の貧困 (見田宗介)		
	マナトレ2級		
後半 30時間 想定 3 学 期	小説 飛行機で眠るのは難しい (小川洋子)	・登場人物の心情を的確に把握する。 ・物語の主題について考える。	・漢字や語句の意味を確認する。 ・物語の流れを理解する。 ・表題について考える。
	評論 虚ろなまなざし (岡真理)	・構成、要旨を的確にとらえる。 ・筆者の論旨を読み取る。	・語句の意味を確認する。 ・本文の要旨を考察する。
	マナトレ1級		
	期末考査		
32時間 想定 3 学 期	小説 舞姫 (森鷗外)	・登場人物の人物像を正確にとらえる。 ・登場人物の心情を的確に把握する。 ・物語の主題について考える。	・漢字や語句の意味を確認する。 ・物語の流れを理解する。 ・表題について考える。
	マナトレ認定テスト		
	学年末考査		

*各学期とも、適宜『マナトレ 国語 挑戦編』を用いて語彙の演習と確認を行う。

教科（科目）	公民（倫理）	単位数	2 単位	学 年	3 年
教科書	『高等学校 新倫理 新訂版』 （清水書院）	副教材等	『テオリア 最新 倫理資料集』新版 （第一学習社）		

1 学習目標

<ul style="list-style-type: none"> 人間尊重の精神に基づいて、人間としての在り方生き方について理解と思索を深め、自己の確立をめざし、良識ある公民として必要な能力と態度を養う。

2 指導の重点

<ul style="list-style-type: none"> 人間とは何か、青年期とはどのような時期なのかを理解し、自己の置かれている立場から世界をどのように考察すればよいのか考える。 ギリシア思想、キリスト教、仏教などの基本的な考え方を探求し、人間としての在り方生き方についての考えを深める。また、現代に生きる人間の倫理的な課題について、先哲の思想を通して考察する。
--

3 評価の観点と評価規準及び評価方法

観点	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用の技能	知識・理解
評価規準	人間としての在り方生き方に関心を持ち、客観的に考察しようとする態度を身につける。	人間の在り方や価値について、多面的に考察し、様々な角度から公正に判断する。	人間としての在り方生き方に関する資料を収集、活用し、適切に表現する。	人間としての在り方生き方に関する基本的な事柄を理解し、その知識を身につける。
評価方法	定期テスト 提出物 取り組み方	定期テスト 提出物 取り組み方	提出物 取り組み方	定期テスト 提出物 取り組み方

4 定期考査・課題・提出物

<ul style="list-style-type: none"> 年間5回の定期考査を実施する。
<ul style="list-style-type: none"> 各学期に授業プリント、ノート of 提出を求める。
<ul style="list-style-type: none"> 不定期に課題を出す。

5 担当者からの一言

<ul style="list-style-type: none"> 授業の取り組みをしっかりとし、授業に集中する。 日頃から新聞やテレビなどのニュースに関心を寄せてほしい。

6 年間学習計画

学期	学習内容	学習のねらい	評価方法
(23) 時間 想定 1 学 期	(倫理) 第1編現代に生きる自 己の課題 第1章人間とは何か 第2章青年期の課題と 自己形成 第2編人間としての自 覚と生き方 第1章人生における哲 学 第2章人生における宗 教 第1節キリスト教 第2節イスラーム教	<ul style="list-style-type: none"> ・青年期に特徴的な心理を学ぶ。 ・古代ギリシアの思想について理解し、人間としての在り方生き方について考えを深める。 ・宗教の特徴を理解すると共に、その意義を考え、人間としての自覚を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト2回 ・提出物 ・授業への取り組み
(29) 時間 想定 2 学 期	第3節 仏教 第3章人生の知恵 第4章人生における芸 術 第3編現代社会と倫理 第1章現代の倫理的課 題 第2章現代に生きる人 間の倫理 第1節人間の尊厳 第2節自然や科学技術 と人間のかかわり 第3節民主社会におけ る人間のあり方 第4節自己実現と幸福 第5節個人と社会との かかわり 第6節現代における理 性の問題	<ul style="list-style-type: none"> ・古代中国の思想を学ぶ。 ・仏教の精神を学ぶ。 ・合理的な考え方が進展することにより、結果としてさまざまな近代社会の問題点を派生させていることを知り、西洋近代が作り出した価値を継承しながら直面する問題を解決する方法を考えさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト2回 ・提出物 ・授業への取り組み
(16) 時間 想定 3 学 期	第4編国際社会におけ る日本人の自覚 第1章日本の風土と外 来思想の受容 第2章現代現代の日本 と日本人としての自覚 第5編現代の諸課題と 倫理	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の古代の精神を学ぶとともに、仏教の受け入れ、仏教の発展を理解させる。 ・日本の近世の儒教を学ぶ。 ・現代の諸問題について考えさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト1回 ・提出物 ・授業への取り組み

計 68 時間 (52 分授業)

教科 (科目)	公民 (政治・経済)	単位数	2 単位	学 年	3 年
教科書	『高等学校 政治・経済』 (第一学習社)	副教材等	『政治・経済資料 2016』 (とうほう) 2017ニュース検定公式テキスト3・4 (毎日新聞社)		

1 学習目標

広い視野に立って、民主主義の本質に関する理解を深めさせ、現代における政治、経済、国際関係などについて客観的に理解させるとともに、それらに関する諸課題について主体的に考察させ、公正な判断力を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。

2 指導の重点

- 民主主義の本質について、丁寧な説明をしていくとともに、基礎項目の理解定着に努める。
- 現代の政治、経済、国際関係などについての客観的理解のために、基礎学力の定着をはかる。
- 諸課題について、各人にテーマを設定させ、課題の本質を調べさせ、解決に向けての考察をする練習をする。

3 評価の観点と評価規準及び評価方法

観点	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用の技能	知識・理解
評価規準	現代の政治、経済、国際関係に対する関心を高め、意欲的に課題を追求するとともに、国家・社会の一員として平和で民主的な社会生活の実現と推進について客観的に考察しようとしている。	現代の政治、経済、国際関係に関わる事柄から課題を見だし、その本質や特質、望ましい解決の在り方について広い視野に立って多面的・多角的に考察し、社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を様々な方法で適切に表現している。	現代の政治、経済、国際関係に関わる諸資料を様々なメディアを通して収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。	現代の政治、経済、国際関係に関する基本的な事柄や、本質、特質及び動向を捉える基本的な概念や理念を理解し、その知識を身につけている。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・授業 (課題) への取り組み ・毎時間の課題プリント ・ノート提出 ・小テスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業 (課題) への取り組み ・ノート課題 (課題に対する問い) 提出 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業 (課題) への取り組み ・新聞その他資料の収集と整理。 ・課題の提出 	<ul style="list-style-type: none"> ・小テスト ・定期テスト

4 定期考査・課題・提出物

- ・定期考査、小テスト、暗唱課題があります。
- ・授業中の課題 (ノート、プリント等) があります。

5 担当者からの一言

2単位の政治・経済の授業です。しかし、その扱う範囲は広く、さらに自ら課題を設定し探求することも求められます。調べる、蓄積する、参加する学習など、授業も工夫していきたいと考えています。また、眼に見えないものを説明するための用語もたくさん出てきます。難しく感じられるかもしれませんが、本当はとても身近なものです。そこに関心をもって頂きたいので、基礎基本の習得を中心にしていきたいと思ひます。お互いにチャレンジの年にしましょう。そして、チャレンジを通して自信をつけ、他の人の様子や意見に眼と耳を傾けられるといった、次の課題と一緒に進んでいきましょう。忘れ物をしないようにメモをとる習慣をつけてほしいと思ひます。

6 年間学習計画

学期	学習内容	学習のねらい	学習活動【評価方法】
(23) 時間 想定 1 学 期	第3編現代社会の諸課題より ①少子高齢化社会⑨国際社会に おける日本の立場と役割 を選択 第1編現代の政治 第1章 民主政治の基本原則と 日本国憲法 ①政治と法の機能②人権保障と 法の支配③議会制民主主義と世 界の政治体制④日本国憲法の基 本原則⑤平和主義と自衛隊⑥基 本的人権の保障と新しい人権 第2章 現代の国際政治と日本 ①国際社会と国際法⑥日本の外 交と国際平和への役割 第2編現代の経済 第1章 現代経済のしくみと特 質 ①経済社会の発展②経済主体と 経済活動③市場経済の機能と限 界④経済成長と景気変動⑤財政 のしくみとはたらき⑬労働問題 ⑭社会保障制度の充実	・現代の日本社会の課題を意識す る ・日本の基本知識を確実に習得す る。その際に、国際社会の変遷、 人権、国家主権、領土などに関す る国際法の意義の中から、日本に ついて理解する。 ・主権国家、人権保障、国民主権 、法の支配などの民主政治の原理 とその発展について、関連する現 代の課題に結びつけながら理解 する。 ・日本国憲法について、成立過程 、基本原則、基本的人権、関連す る国際社会と現代日本の課題に 結びつけながら理解する。 ・経済活動の意義、国民経済にお ける家計、企業、政府の役割、市 場経済の機能と限界、経済成長と 景気変動、財政の仕組みと働き、 租税の意味と役割を理解する。 ・労働問題、社会保障制度につい て理解する。	・新聞資料の読み込み（思考・判 断・表現） ・資料収集（資料活用の技能） ・課題に対して、何が問題になっ ているのか論点をノートにまと める（思考・判断・表現） ・小テスト（知識・理解） ・日本国憲法の書き取りと重要条 文暗唱（関心・意欲・態度） ・授業ノート、プリント課題（関 心・意欲・態度） ・投げかけられた問いや課題に対 して自分の考えをノートに記す （思考・判断・表現 資料活用の 技能） ・定期テスト（知識・理解）
(29) 時間 想定 2 学 期	第1編第1章の続き ⑦国会と立法⑧内閣と行政⑨裁 判所と司法制度⑩地方自治⑪政 党政治と選挙制度⑫民主政治と 世論 第2編第1章の続き ⑥金融のしくみとはたらき⑦物 価の動き⑧日本経済の歩み⑨中 小企業の地位と役割⑩農業の現 状と課題⑪消費者問題⑫高度情 報化の進展と課題⑬環境保全と 資源・エネルギー問題	・日本の統治機構、地方自治、政 党政治、選挙制度について理解す るし主権者としてのあり方につ いて考察する。 ・金融の意味と役割を理解する。 ・物価の動きや日本経済の経済的 諸課題について理解する。地域社 会、産業構造、食料、環境エネル ギー問題などの基本的理解をふ まえ、今日の諸課題解決について 考える。	・授業ノート、プリント課題（関 心・意欲・態度） ・小テスト（知識・理解） ・課題解決のための方策を考える （資料活用の技能） ・投げかけられた問いや課題に対 して自分の考えをノートに記す （思考・判断・表現 資料活用の 技能） ・定期テスト（知識・理解）
(16) 時間 想定 3 学 期	第1編第2章の続き ②国際連合の組織と役割③国際 政治の動向④国際紛争と難民問 題⑤軍備管理と軍縮 第2編第2章 国民経済と国際 経済 ①国際経済のしくみ②国際協調 と国民経済機関の役割③国際経 済の諸問題と日本の役割	・国際社会の変遷、人権、国家主 権、領土などに関する国際法の意 義、国際機関の役割、安全保障に ついて理解する。 ・国際政治の特質や国際紛争の諸 要因について把握する ・貿易の意義、為替相場や国際収 支の仕組み、国際協調の必要性や 国際経済機関の役割について理 解する。	・授業ノート、プリント課題（関 心・意欲・態度） ・課題解決のための方策を考える （資料活用の技能） ・投げかけられた問いや課題に対 して自分の考えをノートに記す （思考・判断・表現 資料活用の 技能） ・定期テスト（知識・理解）

計 68 時間 (52 分授業)

教科名	科目名	学科・学年	単位数
数 学	数学Ⅱ	普通科・第3学年	3単位
教科書	『新編 数学Ⅱ』（東京書籍）		
副教材	『ニューサポート 数学Ⅱ』（東京書籍）		

1 学習目標

- ・ 数学的活動を通して、数学的な見方や考え方を身につけ、それらを積極的に活用しようとする態度を育てる。
- ・ 基礎的な数学的事項を考察し、表現・処理する仕方や推論方法を身につけ、問題解決する方法を理解する。
- ・ 数学における基本的な概念や原理・法則などについて理解し、知識を身につける。

2 指導の重点

- ① 解答の書き方（表現の仕方）をしっかりと学習させる。
- ② 教科書の数学だけを学ぶだけでなく、社会とのつながり、どんなところで数学が使われているのかにも触れていく。
- ③ 微分・積分の分野では特に視覚的に、直感的にとらえられるように工夫をする。

3 評価の観点と評価規準及び評価方法

観点	関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な技能	知識・理解
評価規準	数学の論理や体系に関心をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断しようとする。	事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、数学的な見方や考え方を身に付けている。	事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	数学における基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、知識を身に付けている。
評価方法	取り組み姿勢 提出物	取り組み姿勢 課題	ノート（机間巡視） 課題 定期テスト	ノート（机間巡視） 課題 定期テスト

4 定期考査・課題・提出物

- ・ 定期考査は1・2学期2回、3学期1回100点満点で実施。授業内容と課題内容から主に出題する。

5 担当者からの一言

- ・ 1学期、2学期は2回、3学期は1回の課題あり。
- ・ 長期休業中にそれまでの内容から復習・発展のための課題あり。

6 年間プログラム

学期	学習内容	学習のねらい	学習活動【評価方法】
1 学 期	3章 三角関数 1節 三角関数 2節 加法定理	<ul style="list-style-type: none"> 三角関数やその性質について理解し、グラフを書くことができる。 三角関数の加法定理を理解し、扱うことができる。 	【発言（質問）】 【取り組み姿勢】 【課題プリント】 【小テスト】 【ノート（机間巡視）】
期	4章 指数関数・対数関数 1節 指数関数 2節 対数関数	<ul style="list-style-type: none"> 0乗やマイナス乗の意味を理解し、整数乗の指数の計算ができる。 累乗根の意味を理解し計算できる。 分数乗の計算ができる。 指数関数のグラフがかけられる。 指数関係のグラフの性質を理解し、大小や方程式・不等式が解ける。 対数とその性質について理解し、計算ができる。 対数関数のグラフの性質を理解し、大小や方程式・不等式が解ける。 	
想定 時数 (36)			
2 学 期	5章 微分と積分 1節 微分係数と導関数 2節 導関数の応用	<ul style="list-style-type: none"> 平均変化率の意味を理解し、求めることができる。 微分係数の意味を理解し、定義を用い微分することができる。 導関数を求める公式を用いて微分することができる。 導関数を用いて、接線の方程式を求めることができる。 導関数の性質を用いて、増減表を作りグラフをかいたり、極値、最大・最小を求めることができる。 	
想定 時数 (45)			
3 学 期	5章 微分と積分 3節 積分	<ul style="list-style-type: none"> 積分の意味を理解し、不定積分の計算をすることができる。 積分の意味を理解し、定積分の値を求めることができる。 定積分と面積の関係について理解し、様々な面積を求めることができる。 	
想定 時数 (24)			

教科(科目)	理科(化学)	単位数	4単位	学年	3年
教科書	『新編 化学』(東京書籍)		副教材	スタディノート化学(第一学習社) 自作の教科書に沿った内容のプリント	

1 学習目標

化学的な事物・現象についての観察、実験や課題研究などを行い、自然に対する探求心を高め、化学的に探求する能力と態度を育てるとともに基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な自然観を育成する。

2 指導の重点

化学反応における量的な関係について簡単な比例関係から求めることができるようにする。
身の回りでおこる様々な化学変化と学習内容を結合させる。
化学物質と環境汚染問題について理解させ、学習活動の中で実践させる。

3 評価の観点と評価規準及び評価方法

観点	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	観察・実験の技能	知識・理解
評価規準	自然に対する探求心が育っている。	化学の基本的概念や原理・法則を理解している。	主体的に観察・実験を行っている。	授業を通して科学的な自然観が育っている。
評価方法	学習状況の観察 実験レポート	問題集やプリントの回答実績 実験レポート 定期考査の実績	学習状況の観察 実験レポート	定期考査の実績 問題集やプリントの回答実績 小テストの実績

4 定期考査・課題・提出物

上記の評価の観点に沿った内容の問題を授業担当者が作成し、年間5回定期考査を実施する。
実験実施ごとにレポートを提出。
必要に応じて小単元ごとに小テストを実施する。

5 担当者からの一言

化学の学習を助けるため、化学準備室廊下にいろいろな掲示物を張り出しています。ぜひ見てください。
また、授業はできるだけ日常生活にみられる事柄を例に示しながら展開します。化学が生活をどのように下支えしているかがわかれば、化学を身近に感じることができると思います。

6 年間プログラム

学期	学習内容	学習のねらい	学習活動【評価方法】
(48) 時間 想定 1 学 期	第1編 物質の状態 1章 物質の状態と変化 ① 状態変化 ② 気体の性質 2章 溶液の性質 ① 溶解平衡 ② 希薄溶液の性質 ③ コロイド 3章 固体の構造 ① 固体の結晶 ② 結晶の構造	<ul style="list-style-type: none"> ・気体、液体、固体の状態に関する性質とその違いを理解する。 ・気体の分子運動が温度に関係することを確認し、気体には圧力と温度に関して法則があることを理解する。 ・理想気体の状態方程式により分子量が測定できることを学ぶ。 ・物質の溶解量は物質ごとに、また温度により限界があることを理解する。 ・溶液には共通の性質として、沸点上昇と凝固点降下があることを学ぶ。 ・コロイド溶液の性質について実験などを通して理解する。 	定期テスト 小テスト 実験レポート 学習状況の観察
(60) 時間 想定 2 学 期	2編 化学反応とエネルギー 1章 化学反応と熱・光 ① 反応熱と熱化学方程式 ② ヘスの法則 ③ 光エネルギー 2章 電池と電気分解 ① 電池 ② 水溶液の電気分解 3編 化学反応の速さと平衡 1章 化学反応の速さ ① 反応の速さ ② 反応の速さを変える条件 ③ 反応のしくみ 2章 化学平衡 ① 可逆反応と化学平衡 ② 平衡の移動 3章 電解質溶液の平衡 ① 電離平衡 ② 水の電離平衡とpH ③ 塩と化学平衡	<ul style="list-style-type: none"> ・化学反応の前でエネルギーの出入りがあることを学ぶ。 ・化学反応の速度の表し方を学ぶ。 ・可逆反応、不可逆反応があることを具体例を通して確認する。 ・化学平衡をいろいろな場合で考察して理解できるようにする。 	定期テスト 小テスト 実験レポート 学習状況の観察
(32) 時間 想定 3 学 期	4編 無機物質 1章 非金属元素 2章 典型元素 3章 遷移元素 4章 無機物質と人間生活 5編 有機化合物 1章 有機化合物の基礎 2章 脂肪族化合物 3章 芳香族化合物 4章 有機物質と人間生活 6編 高分子化合物 1章 天然高分子化合物 2章 合成高分子化合物 3章 高分子化合物と人間生活	<ul style="list-style-type: none"> ・合金、セメント、ガラスについて、その製法、性質を学ぶ。 ・最先端技術で一般的に使われている代表的な機能性材料の例を通して考察する。 ・身近な有機化合物の性質を学ぶ。 ・低分子と高分子の違いを学ぶ。 ・高分子のできるしくみと高分子化合物の性質や特徴について理解する。 ・プラスチックの性質をいくつかの具体例を通して確認する。 ・プラスチックのリサイクルについて考察する。 	定期テスト 小テスト 実験レポート 学習状況の観察

平成29年度シラバス（体育）

学番20 新潟県立村松高等学校
担当 石塚 佐藤 皆川

教科（科目）	保健体育（体育）	単位数	2単位	学 年	3年
教科書	『現代保健体育』（大修館書店）	副教材等	なし		

1 学習目標

<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的な運動能力と体力の向上を図る。
<ul style="list-style-type: none"> ・運動の楽しさにふれ、生涯にわたりスポーツに親しむ習慣を育てる。

2 指導の重点

<ul style="list-style-type: none"> ・チャイムと同時に授業を開始する。 ・安全の確保を徹底するため、準備運動をしっかりと行う。 ・他者を尊重する態度を育てる。

3 評価の観点と評価規準及び評価材料

観点	関心・意欲・態度	思考・判断	運動の技能	知識・理解	
評価規準	<ul style="list-style-type: none"> ・運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう自ら進んで計画的に運動しようとしている。 ・公正、協力、責任などの社会的態度が身についている。 ・健康や安全に留意して運動しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己の能力と運動の特性に応じた課題を見つけ出している。 ・課題解決を目指して、活動の仕方を考え工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己の能力と運動の特性に応じた課題解決を目指して運動を行い、技能を高めている。 ・自己の体力や生活に応じて体力を高めるための運動の行い方を身につけている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運動技術の仕組みと運動の学び方について理解できている。 	
評価材料	<ul style="list-style-type: none"> ・行動観察 ・個人カード 	<ul style="list-style-type: none"> ・行動観察 ・個人カード 	<ul style="list-style-type: none"> ・計測 ・行動観察 ・個人カード 	<ul style="list-style-type: none"> ・行動観察 ・個人カード 	

4 定期考査・課題・提出物

持久走やマラソン大会については、欠席した分の補習を行う。

5 担当者からの一言

マナーを守り、スポーツの楽しさを味わってください。

6 年間学習計画

学期	学習内容	学習のねらい (何を学ぶか)	学習活動【評価材料】
23 時間 想定	体づくり運動 体ほぐし運動 体力を高める運動	①体への気づき ②体の調整 ③仲間との交流	
1 学 期	陸上競技 100M 50Mハードル 走幅跳 円盤投	①運動の基礎等、総合的判断することができる ②運動適性を科学的に捉えることができる ①自己の記録向上の喜びや競争の楽しさを味わうことができる	評価の観点及び評価材料をもとに、出欠席なども含め総合的に評価する。
29 時間 想定	陸上競技 持久走 マラソン大会	①心肺機能を高める ②自己の記録向上の喜びや競争の楽しさを味わうことができる	
2 学 期	球技 (選択) バスケットボール バレーボール バドミントン 体育理論	①それぞれの技術レベルに応じて楽しむことができる ②勝敗を競う過程や結果に喜びを感じることもできる 豊かなスポーツライフの設計の仕方について理解できるようにする	評価の観点及び評価材料をもとに、出欠席なども含め総合的に評価する。
16 時間 想定	球技 (選択) バスケットボール バレーボール バドミントン	①それぞれの技術レベルに応じて楽しむことができる ②勝敗を競う過程や結果に喜びを感じることもできる	評価の観点及び評価材料をもとに、出欠席なども含め総合的に評価する。
3 学 期			

計 68 時間 (52 分授業)

教科 (科目)	外国語 (コミュニケーション英語Ⅲ)	単位数	4 単位	学 年	3 年
教科書	All Abroad Communication English III (東京書籍)	副教材等	・教科書準拠WORKBOOK ・英単語集『Vital 1700』 (文英堂)		

1 学習目標

- ①外国語学習を通して言語や文化に対する理解を深め、具体的な言語の使用場面の中で、聞いたことや読んだことを理解する力を伸ばす。
- ②幅広い話題について、具体的な言語の使用場面の中で、英語で話したり書いたりする力を伸ばす。
- ③基礎的な単語や文法事項を用いて自分の考えを表現するなど積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。

2 指導の重点

- ①既習の表現を復習し、聞いたことや読んだことを理解するための基礎的な力を養う。
- ②文法事項を用いて、自分や周囲の事柄について英語で表現させる。
- ③英語の指示を理解し、最後まで諦めずに活動に参加する態度を養う。
- ④読む・書く・聞く・話すの4技能を使う活動をバランス良く取り入れ、積極的に取り組ませる。

3 評価の観点と評価規準及び評価方法

観点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識・理解
評価規準	言語活動に関心を持ち、できる限り英語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。	幅広い話題について、英語で話したり書いたりして、情報や考えを適切に表現している。	英語を聞いたり読んだりして、相手が伝えたい情報や考えを整理し、その内容を的確に理解している。	英語の学習を通じて、その背景にある文化や歴史などを理解している。また、言語の運用についての知識を身につけている。
評価方法	活動への取り組みや授業中の態度、定期考査、課題への取り組みや提出状況、単語テストや音読テストなどから総合的に評価する。			

4 定期考査・課題・提出物

定期考査5回、課題テスト、小テスト、授業で使用するワークシート、ワークブック、週末課題等

5 担当者からの一言

1、2年生で習ったことを復習しながら、新しい表現を学んでいきます。英語に苦手意識を持っている人もいますが、授業中に理解しきれなかったことを補う学習会も開催しますので、最後まで諦めずについてきてください。

学年共通の単語テストと音読テストを実施します。定期テストで良い点を取る自信がなくても、普段の授業や宿題にしっかり取り組めば、自然と力はつきますので、努力しましょう。全ての課題・活動が評価の対象になります。

6 年間プログラム

学期	単元名	学習のねらい	言語活動
48h 1	Lesson 1 Bring Me Good Luck!	招き猫についての紹介を読み、その由来を理解する。 [言語材料] 過去完了形	幸運のお守りについてスピーチをする。
	Lesson 2 You Are What You Eat	野菜スイーツパティシエの柿沢さんについて読み、「食」について考える。 [言語材料] 未来進行形	自分の食生活について述べ、相手の食生活にコメントをする。
	Communication	電話対応の場面で必要な基本的表現を学ぶ。	電話対応の場面を設定し、ペアで会話したり、メモを取ったりする。
	Lesson 3 The Power of Music Word Box 1 My Daily Life Lesson 4 The Natural Treasures of Ogasawara	戦場という極限状態において音楽の持った意味を考える。 [言語材料] 假定法過去 身近な場面でよく使われる語彙を学習する。 小笠原諸島について読み、その直面する問題について考える。 [言語材料] 否定表現	好きな音楽について調べ、発表する。 世界自然遺産を紹介する観光パンフレットを作成し、発表する。
60h 2	Lesson 5 A Door to the Past Word Box 2 Prefixes	ロゼッタ・ストーンの解読にいたる経緯やヒエログリフの特徴について理解する。 [言語材料] 無生物主語 接頭辞の意味を学習し、未知語の意味を推測する。	世界遺産について調べ、プレゼンテーションを行う。
	Lesson 6 A Vision for Green Energy Let's Listen 1	日本とスウェーデンのエネルギー資源利用の比較し、理想的なエネルギー資源の活用について考える。 [言語材料] 比較表現 (倍数表現)	グラフやチャート、写真や図を使って、再生可能エネルギーについてプレゼンテーションを行う。 ニュースを聞き、賛成/反対意見を聞き取る。また、自分の意見を相手に伝え、話し合う。
	Lesson 7 The Story of Ruby Bridges	ルビー・ブリッジズさんの経験と彼女がアメリカの公民権運動に与えた影響について理解し考える。 [言語材料] 過去分詞を使った分詞構文	自由と平等のために活動した人物について調べ、写真や図を使って発表する。
32h 3	Let's Listen 2 Reading 1 The Wizard	物語を読み、登場人物の心情や場面の展開を理解する。	年号など特定の情報を聞き取る。 物語の場面を理解し、登場人物の気持ちを考えながら聞き手に伝わるよう暗唱する。

教科（科目）	外国語（英語表現Ⅰ）	単位数	2単位	学 年	3年（3クラス）
教科書	『SELECT English Expression I』 改訂版（三省堂）	副教材等	『SELECT English Expression I』 ワークブック 改訂版（三省堂）		

1 学習目標

幅広い話題について、聞いたことや読んだことを理解し、情報や考えなどを英語で話したり書いたりし、技能をバランスよく伸ばし、積極的にコミュニケーションを図る態度を育てる。

A L Tのもとで、より自然な表現で英語を実践的に運用する能力を伸ばす。

2 指導の重点

1. コミュニケーションを取るのに必要な英語の基本的知識を身につけるため、文法、熟語、構文などの学習も行い定着させる。
2. A L Tの先生の指導のもと、ペアワークやグループワークにも積極的に取り組ませるようにする。

3 評価の観点と評価規準及び評価方法

観点	コミュニケーション への 関心・意欲・態度	外国語表現の力	外国語理解の力	言語や文化についての 知識・理解
評価規準	積極的に英語でコミュニケーションを取る努力をしている。	場面や目的に応じた言い回しを使用する。	聞いたり、読んだりした内容を理解する。	教科書の本文の内容を通じて、その背景にある文化や歴史などを理解する。
評価方法	発言、取り組み姿勢、反応。	生徒同士のロール・プレイ。 声の大きさやジェスチャーなど。	ティームティーチング時の聞く姿勢、反応。	課題提出や定期考査による。

4 定期考査・課題・提出物

上記の評価の観点を基準とし、期末考査（100点満点）を年5回実施する。

課題の提出状況、日々の取り組み姿勢、ティームティーチング時のペアワークなども評価の対象とし、これを平常点とする。

成績は考査の結果8割、平常点2割とする。

5 担当者からの一言

A L Tの先生と一緒に普段学んでいる英語を実際に使用できるように練習しましょう。
自然に英語で会話できるようになることを目標にしています。

6 年間プログラム

学期	学習内容	学習のねらい	学習活動【評価方法】
(24) 時間 想定 1 学 期	Lesson 1 自己紹介 Lesson 2 世界の食文化 Lesson 3 スポーツ Lesson 4 旅行 Lesson 5 芸能 Lesson 6 日本文化 Lesson 7 環境	自己紹介や初対面の挨拶を学ぶ 世界のさまざまな食文化を学ぶ 世界で活躍するスポーツ選手をテーマに学ぶ 旅行に関する表現を学ぶ 芸能をテーマに学ぶ 祭り、伝統文化、サブカルチャーにいたるまで日本文化について学ぶ 新エネルギーと環境問題について学ぶ	【 取り組み姿勢、提出物、宿題、ペアワークなど】
(30) 時間 想定 2 学 期	Lesson 8 国際社会 Lesson 9 生き物 Lesson 10 生き方 Lesson 11 自然科学 Lesson 12 芸術 Lesson 13 ことば Lesson 14 ご当地 Lesson 15 活躍する高校生	世界平和のために必要なこと、国際社会で活躍する団体などをテーマに学ぶ 水族館で鑑賞できるさまざまな海洋生物について学ぶ 様々な生き方を学ぶ 日進月歩の自然科学をテーマに学ぶ 様々な分野の芸術作品を学ぶ 言語をテーマに学ぶ ご当地ものをテーマに学ぶ 活躍する高校生をテーマに学ぶ	【 取り組み姿勢、提出物、宿題、ペアワークなど】
(16) 時間 想定 3 学期	Lesson 16 地理 Lesson 17 国際協力 Lesson 18 世界遺産	著名な建築物や地理を取り上げ、高さ大きさなどを比較する表現を学ぶ 国際協力をテーマに学ぶ 知覚動詞と使役動詞を学ぶ 世界遺産をテーマに学ぶ 仮定法過去を学ぶ	【 取り組み姿勢、提出物、宿題、ペアワークなど】